

議案第50号関連資料

令和5年度明石市一般会計補正予算(第3号)について

共生社会バリアフリーシンポジウムは、全国の共生社会ホストタウンの取組の共有・発信の場として、2018年度より毎年開催されているもので、国からの依頼により、2023年度は明石市での開催が決定されたところです。

そのため、シンポジウムの開催に関する経費を補正予算として計上するものです。

1 事業概要

名 称	共生社会バリアフリーシンポジウム
目 的	全国の自治体や一般の方々に向け、共生社会ホストタウンによる、「心のバリアフリー」や「ユニバーサルデザインのまちづくり」に関する取組を発信するとともに、取組の現状と今後について意見を交わし、インクルーシブな社会の実現に向けて市民とともに取組む機会とします。
主 催	明石市、国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団
開催日	2023年10月15日(日)(予定)
内 容	他市開催事例 シンポジウム(基調講演、取組発信、パネルディスカッション等) サイドイベント(展示、パラスポーツ体験等)
予 算	5,000千円(報償費、旅費、委託料ほか)
財 源	交通エコロジー・モビリティ財団による「共生社会実現に向けた移動円滑化基金」を活用(10/10)

2 今後の予定

今後、市民とともに「インクルーシブなあかし」をつくっていくにあたり、年齢や障害の有無に関わらず幅広い市民が参加でき、楽しみながら多様性への気づきを得られる市民目線のイベントとして実施できるよう、国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団をはじめ、関係機関とともに準備を進めます。